

景観学習教室の様子(過去の例 参考)

年度	学校・施設名	対象学年 ／人数	実施日程	講師 (県景観アドバイザー)
R7	弘前大学教育学部附属 小学校	5年生 ／69名	9月1日、10月3日、12月12日	北原啓司 氏 (弘前大学特任教授) 岩瀬直樹 氏 (NPO法人青森県樹木医 会事務局長) 古川正敏 氏 (合同会社ゲンジアーク 代表)
R6	むつ市立脇野沢小学校	2～6年生 ／10名	6月26日、9月10日	北原啓司 氏 (弘前大学特任教授)
R6	三戸町立三戸小学校	3年生 ／40名	9月17日	河村信治 氏 (八戸工業高等専門学校 教授)

授業の流れ・様子① (例：令和6年度 三戸町立 三戸小学校)

★事前準備

三戸小学校担当教諭と河村教授の事前打ち合わせ後
夏休み明け 児童への宿題

○好きな景観や気になる景観の写真を1人3枚撮ってこよう！

河村教授からの条件

- ・自分のもの(所有物)ではないもの
- ・景色や場所であること
- ・みんなが見れるものであること

○9/17の景観学習教室本番前に河村教授が授業で取り扱う写真を選定

①座学・発表 (9月17日 3時間目)

- 児童に事前に身近な気になるもの・景観の写真を撮ってきてもらい、授業内での対話を通して、児童の気持ちや感性の言語化を試みる。
- 景観の視点で、自分の落ち着く場所や居心地の良い場所の理由を自ら整理することで自分の住む町の魅力に気付きを与える。

座学・発表



●児童が撮ってきた写真について発表している様子

授業の流れ・様子②（例：令和6年度 むつ市立 脇野沢小学校）

①座学・まち歩き（6月26日 1～3時間目）

- 「景観」とは何か、まちの見方について講義
- グループに分かれてまち歩きをし、タブレットで撮影



●景観について学んでいる様子



●まちあるきの様子

まち歩き

準備物品：ホワイトボード、タブレット、大型ディスプレイ（学校）

②発表会（9月10日 1～3時間目）

- まち歩きで学んだことや活動をまとめ発表



●発表の様子



●北原特任教授より講評

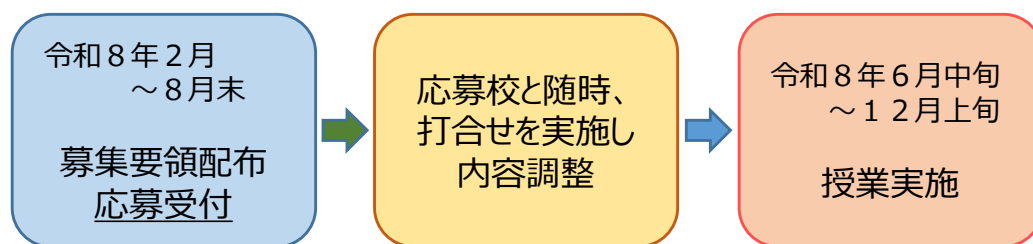
発表会

準備物品：大型ディスプレイ、パソコン（学校）

↑「景観学習教室」としては以上で終了。

スライドの作成、まとめ作業については学校が主体となり実施しました。

〈令和8年度景観学習教室応募から授業実施までの流れ〉



- ・実施回数や内容については、実施決定後、各校の希望に合わせて調整します。
- ・講師の派遣手続き及び経費については県が負担します。
- ・まち歩きのファシリテーターとして、市町村職員を派遣することもできます。

お問合せ
県土整備部都市計画課
都市計画・景観グループ

住所
〒030-8570
青森市長島1丁目1-1

電話 017-734-9681
FAX 017-734-8196

✉
keikan@pref.aomori.l
g.jp